

令和 5 年度

遠軽町社会福祉協議会

事業報告書

(自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日)

社会福祉法人 遠軽町社会福祉協議会

令和5年度 遠軽町社会福祉協議会事業報告書

令和5年度の我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へ引き下げられ、コロナ禍からの社会活動の正常化が進む中で、緩やかな持ち直しが続いていますが、その一方で、世界各国で起きている戦争等の影響により、世界的なエネルギー・食料価格の高騰など経済環境は、依然として厳しい状況にあります。

これらは、地方経済にも波及し当地方も業況が悪化しました。

このような状況の中で、当協議会は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じて、地域福祉事業並びに在宅福祉事業、及び介護サービス事業等を行ってきました。

また、少子高齢化、過疎化による人口減少及び新型コロナウイルス感染症などの社会的要因で、高齢者や障がい者を取りまく生活環境は、厳しい状況にある中で、当協議会は、「ともに支え合う安心・安全・福祉のまちづくり」を基本目標とし、令和5年度の事業を実施し、地域福祉、並びに在宅福祉の推進を図って参りました。

以下のとおり、令和5年度の事業報告をいたします。

1 地域福祉活動の推進

地域住民が抱える生活上の問題も多様化し複雑化するなか新型コロナウイルス感染症の予防対策を図りながら、地域福祉推進のため事業を実施しました。

(1) 小地域福祉活動推進事業（小地域ネットワーク事業）

各自治会において、高齢者（一人暮らし）に対して地域における見守り、声かけ、地域ふれあい交流会など地域住民活動の推進を図るため、次のとおり各自治会に対し助成支援を行っておりますが、コロナ禍による行動制限の緩和により、地域住民がふれあう交流会等を、感染症の予防対策を講じながら実施して参りました。

助成支援状況

(単位：円)

年度 地区名	令和5年度		令和4年度		比較		備考
	自治会数	助成額	自治会数	助成額	自治会数	助成額	
遠軽地区	28	872,490	27	858,070	1	14,420	
生田原地区	21	235,200	20	228,700	1	6,500	
丸瀬布地区	12	181,600	12	189,750	0	▲8,150	
白滝地区	8	60,000	8	60,000	0	0	自治会長連絡協議会に一括交付
合計	69	1,349,290	67	1,336,520	2	12,770	

(2) 地域型ふれあいサロン（カフェ）の実施

地域サロンは、絵手紙など月1回程度開催し、年々参加者も増えております。参加者は40代から80代までと年齢が幅広く、毎月の例会を楽しみに参加されています。

令和5年度より、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながらサロン事業を実施した地区もありますが、新型コロナウイルス感染症の影響や町からの受託事業であった老人生きがい事業指導員設置事業の事業移行により、各地域で開催していた陶芸教室の開催が難しくなったために、遠軽地区ではサロン事業を廃止した地域もあります。

生田原地区で開催をしていたカフェ事業については、コロナ禍前に開催場所を変更してからは参加者が一人もいない状況が3ヶ月ほど続き、それ以降は事業の開催を中断しておりましたので、再度事業の開催等について検討していきます。

◆ サロン・カフェ活動状況

区分 地区名		サロン名（内容）	開催回数	利用人員 （参加人数）	備考
遠 軽	社 協 主 体	中央サロン（絵手紙・ちぎり絵）	12回	141人	毎月開催 会場・げんき21
生田原	社 協 主 体	生田原サロン （絵手紙を楽しむ会）	12回	82人	毎月開催・会場生田原 図書館（地域高齢者・地域 住民）
丸瀬布	社 協 主 体	おしゃべりサロン （絵手紙・ちぎり絵・消しゴムスタン プ・茶話会）	12回	28人	毎月開催・会場丸瀬布 ふれあいセンター

(3) 地域ふれあい交流等事業の実施

地域住民と障がい者、高齢者や子どもたちがふれあい交流を通じて相互間の理解を深め、社会参加等を図ることを目的にした事業です。

新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へ引き下げられ、コロナ禍による行動制限が緩和されたので、令和5年度より新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しました。

各地区のふれあい広場事業

事業名	区分	実 施 日	実 施 場 所	参加人員
			事 業 内 容	
遠 軽 地 区 健康とふれあいの 広場2023		6月25日（日）	遠軽町保健福祉総合センター	700名
			「障がいを持つ人、お年寄り、若者、子どもたち」と町民がふれあい、優しさ、思いやりを伝えあい、多くの人々に福祉に対する理解と関心を広め福祉の推進を図り、併せて、「自分の健康は自分で守る」という理解と関心を広める事業です。	

	令和5年度は、コロナ禍による行動制限が緩和されてからの開催となり、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しました。		
白滝地区	7月19日(水)	遠軽町白滝高齢者総合生活福祉センター(ほのぼの)	150名
ふれあいほのぼの納涼祭2023	<p>普段、外出の機会が少ない高齢者の社会参加を促進するため、高齢者と住民が同じ場所に集い語り合える場所を提供し、世代間交流を図る事業です。</p> <p>令和5年度は、コロナ禍による行動制限が緩和されてからの開催となり、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しました。</p>		
丸瀬布地区	中止	丸瀬布中央公民館	名
ふれあいと健康の広場まるせっぷ2023	<p>地域で生活する子ども、高齢者や障がい者に対する地域住民の励ましや助けあい、支えあいや思いやりのある温かな地域づくりの実現、また、共に健康で安心して暮らせる地域づくりを目的とした事業です。</p> <p>地域住民の高齢化による協力団体の解散、会員の減少による団体活動の縮小、地域におけるコロナ禍の影響など様々な問題を抱え、事業の在り方について実行委員会で協議を行い、令和5年度の開催を中止しました。</p> <p>令和6年度は規模を縮小して開催する予定です。</p>		

◆ふれあい交流事業

地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
遠 軽	第18回 社協 会長杯ゲート ボール大会	9月19日(火)	遠 軽 高 齢 者 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	参加者 地区高齢者 4チーム 21名 遠軽町長・社協役職員 7名 計 28名
	<p>3地区の高齢者がゲートボール大会を通して交流を深め、また、健康増進を図ることを目的とする事業です。</p> <p>令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しました。</p>			

遠 軽	手づくり フェスタ	廃 止	保健福祉総合 センター (げんき 21)	参加者 高齢者・障害者・児童一般 者 約 名ほか、ボラン ティア 名 計 名
	<p>高齢者や障がい者が手作りした作品を通じて、多くの町民が集まり、福祉に対する関心と理解を深め、絵手紙・陶芸・革工芸等の親子体験コーナーで、体験交流を図ることを目的とする事業です。</p> <p>町の受託事業であった老人生きがい事業指導員設置事業の事業移行や指導員の交代等により、地域での陶芸教室の開催が難しくなりました。</p> <p>また、絵皿用の素焼き皿の作成や、陶芸作品の本焼きも以前のようにできなくなったため、メインであった陶芸コーナーの設置が困難となり、実行委員会で協議を行い、事業を廃止することになりました。</p>			
	区分事 業名	実 施 日	実施場所	参加人員等
	障がい者ふれ あいパークゴ ルフ交流会	9月27日(水)	学田愛ちゃん 広場	参加者 遠軽地区精神障がい者 11名 地区住民ボランティア 16名 社協役職員 8名 計35名
<p>遠軽地区の精神障がい者（NPOさわやかなのメンバー）と地区住民（学田パークゴルフ愛好会）、社協の役職員とが、パークゴルフを通じて交流を図る事業です。</p> <p>令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しました。</p>				
区 分 事業名	実 施 日	実施場所	参加人員等	
カレンダー リサイクル 広場	令和6年 1月14日(日)	保健福祉総合 センター (げんき 21)	参加者約150名	
<p>家庭、企業や団体等で使われていないその年のカレンダーを寄附していただき、安価で販売して、収益金を地域福祉事業に役立てるとともに紙資源として、カレンダーをリサイクルし、環境保全の一助とする事業です。</p> <p>令和5年度は、コロナ禍による行動制限が緩和されてからの開催となり、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しました。</p> <p>実施場所も福祉センターから保健福祉総合センター（げんき21）へと変更して実施しました。</p>				

地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
生田原	ふれあい交流会	7月11日(火)	芸術文化交流プラザ(メトロプラザ)・道の駅遠軽森のオホーツク・CITY遠軽店	参加者 70歳以上の独居高齢者・ 介護予防高齢者 7名 社協役員 7名 計14名
	<p>生田原地区の70歳以上の独居高齢者を対象に、バス旅行を通して交流を深める事業です。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら4年ぶりに実施しました。</p>			
地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
生田原	異世代交流会	11月9日(木)	生田原小学校	児童34名、教職員11名 しらかば大学 12名 社協役員等 8名 計65名
		中止	安国小学校	児童 名、教職員 名 しらかば大学 名 社協職員 名 計 名
	<p>生田原地区内の小学校児童としらかば大学(生田原地区高齢者大学)の学生がそれぞれ昔の遊びを通して交流を図る事業です。 令和5年度は、コロナ禍による行動制限が緩和されてからの開催となり、生田原小学校が新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しました。 安国小学校は、学校及びしらかば大学と当協議会との協議の結果、学校と高齢者大学との間で日程の調整がつかず中止としました。</p>			
地区名	区分 事業名	実施日	実施場所	参加人員等
丸瀬布	おしゃべりサロン「会食会」	中止		参加者 名 社協役員 名 計 名
	<p>70歳以上の一人暮らし・2人暮らしの高齢者夫婦・サロンの参加者を対象に行っている事業です。 令和5年度は、燃料や物価高騰の影響により施設の使用料等が大幅に増加した中で、近隣において一堂に会して昼食や交流会ができる施設を探したが見つかることができず、当協議会の判断で中止としました。</p>			

地区名	区 分		実 施 日	実施場所	参加人員等
	事業名				
白 滝	白滝地区ふれあい交流会		中 止	高 齢 者 総 合 生 活 福 祉 セ ン タ ー ほ の ぼ の 屋 外 (玄 関 前 ・ 駐 車 場)	参加者 デイサービス 名 ほのぼの入居者 名 老人クラブ会員 名 保育所児童・保育士 名 学童保育・小学生 名 サロン利用者 名 民生児童委員 名 総合支所職員 名 社協役職員 名 <u>計</u> 名
	<p>白滝地区のデイサービス利用者、ほのぼのサロン利用者（入居者）、老人クラブ会員、地域の子供（保育所・小学校児童）が一堂に会し、ほのぼの体操やゲーム通じて、夏場における地域の世代間交流を図る事業です。</p> <p>令和5年度も「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から当協議会の判断で中止としました。</p>				
地区名	区 分		実 施 日	実施場所	参加人員等
	事業名				
白 滝	白滝地区ふれあい交流日帰りバスツアー		中 止		参加者 デイ利用者 名 デイ（家族） 名 ほのぼの入居者 名 ふれあい・ほのぼの・ のびのびサロン 名 社協役職員 名 民生委員 名 <u>計</u> 名
	<p>普段から外出の機会が少ない白滝地区在住の概ね70歳以上の高齢者、障がい者、ほのぼの入居者及びふれあいほのぼのサロン参加者等を対象として、バスツアーを行い交流する事業です。</p> <p>令和5年度もバスで移動中の「3密」が避けられないとの当協議会の判断で「新型コロナウイルス感染拡大防止」の観点から中止としました。</p>				

地区名	区分		実施日	実施場所	参加人員等
	事業名				
白滝	白滝ふれあいもちつき大会		12月13日(水)	高齢者総合生活福祉センターほのぼの	参加者 デイ利用者・入居者 19名 保育所 8名 消防署職員 4名 民生児童委員 3名 総合支所職員 4名 サロン利用者 3名 社協役職員・評議員 18名 計59名
	<p>地域の高齢者（施設入居者、デイサービス通所者、生きがいデイサービス通所者）と地域の子供達、サロン利用者、民生委員児童委員、行政職員、社会福祉協議会役職員、評議員が餅つきを通して、地域の世代間交流を図る事業です。</p> <p>令和5年度は、コロナ禍による行動制限が緩和されてからの開催となり、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しました。</p>				

◆ふれあい郵便事業

一人暮らしの高齢者を対象に、ボランティアに新型コロナウイルスの感染の予防対策を図りながらハガキや絵手紙を書いていただき、送付または配食にあわせて配付を行い高齢者との交流を図りました。

・遠軽地区

- ・絵手紙サロン 中央
絵手紙作成（毎月） 配食世帯に2か月に1回程度で配付

・生田原地区

- ・北光学園ボランティアサークル
生田原地区（生田原地域・安国地域の満70歳以上の一人暮らしの高齢者へ手紙を送る。（毎月）

(4) 福祉総合相談業務

福祉総合相談業務を行い住民の様々な相談に応じました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へ引き下げられ、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な相談が、令和4年度と比較して大幅に減少しました。

- ・遠軽地区
 - 定例相談 毎週火曜日 遠軽町保健福祉総合センター（社協相談室）
相談員（民生委員・児童委員46名に委嘱し、社協役職員とともに相談に応じている。）
 - 随時対応 遠軽町保健福祉総合センター
相談員（社協役職員）
 - 相談件数 51件（内訳 開設日2件、電話相談37件、相談日以外の来所相談12件）

- ・生田原地区
 - 随時対応 遠軽町社会福祉協議会生田原地区事務所
相談員（社協職員）

- ・丸瀬布地区
 - 随時対応 遠軽町丸瀬布ふれあいセンター
相談員（社協職員）

- ・白滝地区
 - 随時対応 遠軽町白滝高齢者総合生活福祉センター
相談員（社協職員）

(5) 安心・安全・福祉のまちづくり推進

全国的に、特殊詐欺による被害が後を絶ちません。

全国において特殊詐欺撲滅運動が展開されているなかで、町内各関係機関と連携し、地域住民が住み慣れた地域で「安心して安全に生活できる」ことを目指し、被害防止活動に取り組みました。

令和5年度の活動は、次のとおりです。

地区名	区分	実施日	実施場所	備考
	事業名			
4地区	悪質訪問販売被害防止活動	令和5年4月 ～令和6年3月	4地区全域	全地区巡回
	「悪質訪問監視車両」と印字したマグネットステッカーを車両に貼って、4地区のヘルパー等が訪問車両12台に乗って毎日運行、被害の未然防止啓発に努めています。			
遠 軽	区分	実施日	実施場所	参加人員等
	事業名			
特殊詐欺被害防止啓発活動		中 止	遠軽地区 (カ所)	訪問啓発 (世帯)

遠 軽	<p>一筆会（絵手紙ボランティア）の協力を得て、作成した被害防止用絵手紙を活用し、遠軽警察署員と、社協職員とで、遠軽地区の配食サービス利用者を対象に訪問し絵手紙を配付して、特殊詐欺被害防止の啓発活動を行う予定でしたが、令和5年度も遠軽警察署との協議の結果、「新型コロナウイルス感染の拡大防止」の観点から、中止としました。</p>			
	シバザクラ満開凧上げ大会	5月21日(日)	太陽の丘 えんがる公園 虹の広場	親子参加者0名、社協 役職員、絵手紙同好会・ 一筆会・警察署員・曹友会 (計15名) 計15名
	<p>ボランティアに制作してもらった凧をあげ、子供たちへの昔遊びの伝承と防犯の啓発活動を行う事業です。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施する予定でしたが、荒天のため中止としました。 なお、当日、凧上げ会場で「特殊詐欺被害防止啓発凧・交通安全の啓発凧」の制作者2名が代表して、遠軽警察署長へ凧を贈呈しました。</p>			

(6) 会員の拡大活動（一般会員・特別会員）

自治会連合会、各自治会の全面的な協力をいただき、令和5年度も会員拡大を図ってきました。

4地区全体での会員数は、40会員の減となりました。

前年度対比で一般会員数は、遠軽地区で54世帯の増、遠軽地区以外の3地区で73世帯の減となり年々少しずつ減少しており、4地区全体で19会員の減となりました。

特別会員数は、遠軽地区で25件の減、遠軽地区以外の3地区で4件の増となり、4地区全体で21件の減となりました。

過疎化や少子高齢化の社会的要因による人口減少の影響はありますが、今後においても、更に、会員拡大の取組みに努めなければならないところです。

令和5年度の会員加入状況は、次のとおりです。

社協会員（一般・特別会員）加入状況（R6.3.31現在、一般は世帯数、特別は件数）

地 区		令和5年度	令和4年度	比 較	備 考
遠 軽	一 般	3,534 世帯	3,480 世帯	54 世帯	
	特 別	400 件	425 件	△25 件	
	計	3,934 会員	3,905 会員	29 会員	

生田原	一 般	616 世帯	635 世帯	△19 世帯	
	特 別	8 件	8 件	0 件	
	計	624 会員	643 会員	△19 会員	
丸瀬布	一 般	544 世帯	565 世帯	△21 世帯	
	特 別	30 件	29 件	1 件	
	計	574 会員	594 会員	△20 会員	
白 滝	一 般	209 世帯	242 世帯	△33 世帯	
	特 別	18 件	15 件	3 件	
	計	227 会員	257 会員	△30 会員	
合 計	一 般	4,903 世帯	4,922 世帯	△19 世帯	
	特 別	456 件	477 件	△21 件	
	計	5,359 会員	5,399 会員	△40 会員	

(7) 各福祉団体育成事業の推進

令和5年度も以下の団体の活動に対して、財政援助及び支援協力を行いました。

◆老人福祉活動助成支援

◇遠軽町老人クラブ連合会（4地区全体）

◇単位老人クラブ（令和6年3月末現在 4地区11クラブ・会員数479名
[前年度576名]）

（内訳 遠軽地区8クラブ・生田原地区1クラブ・丸瀬布
地区1クラブ・白滝地区1クラブ）

（助成総額77,610円 [前年度85,000円]）

◆心身障がい児・者福祉活動助成支援

◇身体障がい者福祉協会遠軽分会（令和5年度は助成を辞退）

◇遠軽ことばを育てる親の会

◇北海道難病連遠軽支部（令和5年度は助成を辞退）

◇NPO法人遠軽町手をつなぐ育成会かたつむりの会

◆児童福祉活動の推進

◇遠軽町子ども会育成連合会

◆民生委員活動への助成支援

◇遠軽町民生委員児童委員協議会

◆その他福祉団体の活動への支援

◇遠軽町遺族会（令和5年度は助成を辞退）

(8) 募金運動の推進

新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類へ引き下げられ、コロナ禍による行動制限が緩和されました。その中でイベント募金として4年ぶりに「歳末チ

「ヤリティー芸能の集い」を新設された遠軽町芸術文化交流プラザ(メトロプラザ)において、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い実施し、多くの町民の方々にご協力をいただきました。

街頭募金も新型コロナウイルス感染対策を行い、遠軽地区は、シティ遠軽店、コーププラザ店、コープみなみ店、ダイソーコープみなみ店、生田原地区は、遠軽信用金庫生田原支店、セイコーマート生田原店、丸瀬布地区は、道の駅まるせつ、白滝地区は、高規格道路パーキングエリアにおいて、10月1日～10月28日の間に募金活動を行いました。

遠軽地区においては、募金ボランティアとして、遠軽地区自治会連合会、身体障害者福祉協会遠軽分会、遠軽高校インターアクトクラブ、遠軽高等学校生徒有志、遠軽小学校児童会、東小学校児童会、南小学校児童会、遠軽中学校生徒会、南中学校生徒会、北光福祉会各施設職員、NPO さわやか(職員・メンバー)、NPO かたつむりの会(職員・メンバー)、くらしネットLink(職員・利用者)、遠軽信用金庫本店職員、民生委員児童委員、社協役職員・評議員、個人ボランティアの総勢524名、生田原地区においては、民生委員児童委員、福祉推進委員、社協役職員・評議員合わせて15名、丸瀬布地区においては、民生委員児童委員、福祉推進委員、保健推進員、役場総合支所職員、丸瀬布福祉会、社協役職員・評議員合わせて28名、白滝地区においては、民生委員児童委員、社協役職員・評議員、役場総合支所職員、日赤奉仕団、白滝小学校教員合わせて22名、全地区総勢589名(前年度604名)の皆さんに募金活動への協力をいただき、734,505円(前年度740,964円)の募金が集まりました。

このほかに、自治会の一括募金(遠軽地区・生田原地区・丸瀬布地区・白滝地区)、法人募金、学校募金、個人大口募金(遠軽地区募金ボランティア62名)、など全町的な協力を得たところであります。

また、令和5年度より2種類のご当地ピンバッジを作成し、バッジ募金を新たに実施したところ、多くの方々にご協力をいただき好評を得ることができました。

全体の令和5年度赤い羽根共同募金目標額4,300,000円に対して、募金総額は、5,424,013円となり、目標額より1,124,013円の増加となり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも目標額を超える募金をあつめる事ができました。

(9) 広報活動の推進

令和5年度より社協のホームページを開設し、社協からのお知らせや行事案内など随時更新しております。

「社協だより」は、年6回発行しました。また、丸瀬布地区においては、地元紙「やまなみ」に社協ニュース(月3回)を掲載し、事業計画、お知らせや行事案内など細かな広報活動に心がけ進めてきました。

(10) 福祉学習の推進

豊かな福祉の地域づくりを進めるため、町内学校等と連携を深めながら、福祉教育として、福祉体験学習を実施しました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しました。

遠軽小学校

- ・「車イス体験」 7月14日（金） 講師 社協職員4名

安国中学校

- ・「デイサービスセンターのびやかとの交流」 11月15日（火）

丸瀬布中学校

- ・「車イス体験」 10月25日（水） 講師 社協職員3名
- ・「ブラインドウォーク」 11月1日（水） 講師 社協職員2名

遠軽中学校

- ・「認知症サポーター養成講座」 1月30日（火） 講師 社協職員3名
- ・「車イス体験」 2月29日（木） 講師 社協職員4名

(11) ボランティア活動の推進

ボランティアの発掘や育成、活動の推進のためにボランティアセンターでは次のような事業を行なってきました。

令和5年度は、コロナ禍による行動制限が緩和され、各地でイベントや行事も実施されるようになり、ボランティアの派遣を行いました。

（ボランティア派遣5回、延べ472人）

① ボランティア協力校指定事業

当協議会が指定した町内の学校並びに指定団体は、各地区においてボランティア活動に取り組んでいますが、令和5年度は、コロナ禍による行動制限が緩和され、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施したところです。

- ◇町社協指定
- | | | |
|------------|--------------------|---------|
| ・遠軽小学校 | ・東小学校 | ・南小学校 |
| ・生田原小学校 | ・安国小学校 | ・丸瀬布小学校 |
| ・白滝小学校 | ・遠軽中学校 | ・南中学校 |
| ・生田原中学校 | ・安国中学校 | ・丸瀬布中学校 |
| ・白滝中学校 | ・北海道紋別養護学校ひまわり学園分校 | |
| ・遠軽高校（定時制） | 計15校 | |

② 青少年ボランティア活動推進事業

将来の担い手となる青少年を育成するために町内の青少年ボランティアサークルをボランティア活動協力の指定団体としました。

新型コロナウイルス感染症の影響を考え、令和5年度の活動は制限されました。

- ・北光学園ボランティアサークル

③ ボランティア研修会等への参加

令和5年度網走地区災害ボランティア組織連携会議

令和5年11月16日 網走市 職員2名出席

令和5年度オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム

令和5年10月14日 紋別市 職員2名出席

- ④ボランティア活動等の広報事業
社協だよりにより、住民へ周知を行いました。
- ⑤ボランティア登録者の募集
年間を通じて、個人ボランティア並びにボランティア団体の登録を行いました。
・個人登録3名、団体なし
- ⑥個人ボランティア・ボランティア団体との連絡調整
ボランティア派遣の要請を受け、個人ボランティア並びにボランティア団体との連絡調整を行いました。
令和5年度は、各地区でふれあい交流や福祉イベントが開催されるようになり、多くの個人・団体のボランティアの調整を行いました。
- ⑦ボランティア活動保険の加入促進
安心してボランティア活動をしていただけるように、ボランティア活動保険の加入を促進するため、社協だより等を通じて呼びかけました。

2 在宅福祉サービス事業の推進

社協の活動エリアは広範囲ですが、地域に密着した体制のなかで、きめ細かな在宅福祉サービスを展開し、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、次のとおり事業を実施しました。

(1) 町受託事業

◆配食サービス事業

調理を行う事が困難な在宅の高齢者や、障がい者に対し週2回を限度として夕食を配達しながら安否確認も併せて行う町の委託事業です。

令和5年度も、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら事業を行いました。

介護予防・日常生活総合事業対象者の配食数は、前年度と比較して生田原地区が増加となっておりますが、遠軽地区、丸瀬布地区、白滝地区は利用数が減少しており、4地区全体で108食の減となりました。

また、その他の対象者の配食数も前年度と比較して生田原地区は増加となっておりますが、遠軽地区、丸瀬布地区、白滝地区は利用数が減少しており、4地区全体で1,190食と大幅に減少しました。

配食サービス（介護予防・日常生活支援総合事業）

（単位：食・人）

地区別	年度	令和5年度 (配食数)	令和4年度 (配食数)	比較	利用対象者	
					5年度末	4年度末
遠 軽		3,260	3,337	△77	34	38
生田原		543	474	69	9	6

丸瀬布	208	276	△68	4	4
白 滝	251	283	△32	6	5
計	4,262	4,370	△108	53	53

配食サービス（その他）

（単位：食・人）

地区別 \ 年度	令和5年度 (配食数)	令和4年度 (配食数)	比 較	利用対象者	
				5年度末	4年度末
遠 軽	3,340	4,195	△855	43	46
生田原	668	535	133	12	9
丸瀬布	932	1,131	△199	18	13
白 滝	782	1,051	△269	18	14
計	5,722	6,912	△1,190	91	82

◆外出支援サービス事業

要支援の高齢者や重度の障がい者を通院やリハビリ等のために、医療機関等への送迎を行う町の委託事業です。

令和5年度も、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、外出支援サービスを行いました。

前年度と比較して利用状況は、全地区で増加し、全体で372人の増加となりました。

利用対象者は、前年度と比較して全地区で増加し、全体で34人の増加となっています。

外出支援サービス

（単位：人）

地区別 \ 年度	令和5年度 (利用延人員)	令和4年度 (利用延人員)	比 較	利用対象者	
				5年度末	4年度末
遠 軽	818	667	151	67	48
生田原	747	556	191	42	34
丸瀬布	361	341	20	22	16
白 滝	207	197	10	12	11

計	2,133	1,761	372	143	109
---	-------	-------	-----	-----	-----

◆在宅介護用品支給事業

遠軽町からの受託事業で、介護保険要介護3・4・5の認定者、及び重度の障がい者（児）が対象となり、町民税非課税世帯の家庭で介護されている介護者に対して、経済的な負担の軽減を図るため、介護用品（紙オムツ・紙パンツ・尿取りパッド）を現物支給するものです。

令和5年度は、丸瀬布地区、白滝地区に対象者はいませんでした。

対象者は、前年度より遠軽地区は増加し、生田原地区は減少しています。

延利用者数は両地区併せて65人の減となりました。

遠軽地区と生田原地区は、民生委員児童委員の方々が配付しています。

対象者・支給状況

(単位：人)

地区別	人員	年 度			備 考
		令和5年度	令和4年度	比 較	
遠 軽	対象者	21	16	5	
	延利用者数	115	155	△40	
生田原	対象者	1	3	△2	
	延利用者数	12	27	△15	
丸瀬布	対象者	0	1	△1	
	延利用者数	0	10	△10	
白 滝	対象者	0	0	0	
	延利用者数	0	0	0	
計	対象者	22	20	2	
	延利用者数	127	192	△65	

※対象者は令和6年3月31日現在です。

◆地域包括支援センター事業

遠軽町から委託を受け高齢者等の身近な相談窓口として、高齢者やその家族等が、保健・福祉サービスによる必要な支援が総合的に受けられるよう、令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、各関係機関と連携・調整を図り相談援助を行いました。

年間の相談援助等の総件数は、町の介護予防事業や日常生活支援事業等が、多くの地域住民に理解されたと思われ、相談件数は前年度より大幅に増加しました。

遠軽町地域包括支援センター相談援助等実績

(単位：件)

内 容		年 度		
		令和5年度	令和4年度	比 較
件 数		4,865	4,194	671
形態	新 規	262	291	△29
	継 続	4,603	3,903	700
相談形態	訪 問	1,791	1,845	△54
	電 話	2,191	1,725	466
	来 所	323	306	17
	そ の 他	560	318	242
相談者	本 人	3,052	2,683	369
	家 族	1,540	1,712	△172
	地域住民	5	12	△5
	介護支援専門員	52	95	△43
	医療・福祉関係機関	1,166	818	348
	民生委員児童委員	12	13	△1
	そ の 他	37	18	19
業 務 内 容	健康・医療に関する事	1,888	1,619	269
	介護保険制度に関する事	1,756	1,765	△9
	他の保健・福祉サービスに関する事	1,045	479	566
	施設入所に関する事	265	266	△1
	実態把握・相談助言	2,434	2,352	82
	住宅改修に関する事	750	298	452
	介護用品に関する事	632	553	79
	連絡・調整	3,055	2,539	516
	生活に関する事	839	596	243
	ケアマネ支援	24	44	△20
	成年後見	1	3	△2
	困難事例	39	21	18
	消費者被害	0	0	0
	虐待・介護放棄	5	3	2
	そ の 他	12	29	△17
会 議	ケアマネ会議	38	36	2
	地域ケア会議	67	41	26
	グループホーム運営推進会議	31	13	18
	個別ケース会議	261	210	51
	そ の 他	553	444	109
講 師 派 遣		26	18	8

◆生活支援体制整備事業

高齢者の日常生活のニーズを調査するとともに地域資源の状況を把握し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう取組みを行うため、町の委託を受け「生活支援コーディネーター」を配置しています。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、事業を実施しました。

生活支援コーディネーター活動実績 (単位：件)

内 容	令和5年度	令和4年度	比 較
地域のニーズ並びに地域資源状況の可視化及び問題提起	63	65	△2
地縁組織等多様な主体への協力依頼等働きかけ	22	28	△6
関係者のネットワーク化	52	36	16
目指す地域の姿並びに方針の共有及び意識の統一	47	32	15
生活支援の担い手の養成及びサービスの開発	18	27	△9
ニーズとサービスのマッチング	28	38	△10

◆在宅介護支援センター事業

高齢者が地域で生活を継続することができるよう、町から在宅介護支援センター事業の委託を受けています。生田原・丸瀬布・白滝地区の各地区において、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、高齢者やその家族が、保健・福祉サービスによる必要な支援が総合的に受けられるよう、各関係機関と連携、調整を図り相談援助を行いました。相談援助等の総件数は、前年度との比較では生田原地区・丸瀬布地区は増加しましたが、白滝地区は減少しました。

令和5年度在宅介護支援センター相談援助等実績表(3地区) (単位：件数)

地 区	生田原地区			丸瀬布地区			白滝地区		
	R5	R4	比較	R5	R4	比較	R5	R4	比較
年 度	1,254	1,122	132	1,175	1,173	2	781	935	△154
形 態									
新 規	38	34	4	15	22	△7	19	8	11
継 続	1,216	1,088	128	1,160	1,151	9	762	927	△165
相 談 形 態									
訪 問	790	679	111	612	586	26	463	532	△69
電 話	319	267	52	1,008	920	88	258	288	△30
来 所	45	38	7	6	7	△1	106	132	△26
そ の 他	100	138	△38	0	0	0	10	22	△12

相 談 者	本 人	812	733	79	791	677	114	491	558	△67
	家 族	656	684	△28	708	787	△79	308	362	△54
	地 域 住 民	2	5	△3	2	1	1	5	1	4
	医 療 ・ 福 祉 機 関	130	86	44	162	230	△68	104	152	△48
	サ ー ビ ス 事 業 所	181	138	43	686	530	156	118	115	3
	そ の 他	3	3	0	1	1	0	5	8	△3
業 務 内 容	健康・医療に関すること	1,021	821	200	404	734	△330	209	307	△98
	介護保険制度に関すること	1,153	935	218	916	971	△55	495	528	△33
	他の医療・福祉サービス	97	168	△71	321	253	68	47	46	1
	施設入所に関すること	61	46	15	42	37	5	30	39	△9
	住宅改修に関すること	9	5	4	45	16	29	11	7	4
	介護用品に関すること	42	55	△13	114	117	△3	32	19	13
	虐待・権利擁護	4	9	△5	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	56	49	7	0	7	△7	40	88	△48
対 応 調 整	申 請 代 行	16	31	△15	12	10	2	21	16	5
	他 機 関 紹 介	7	9	△2	0	0	0	0	0	0
	一 時 支 援	56	64	△8	6	5	1	40	35	5
	調 整 ・ ケ ー ス 会 議	1,068	858	210	1,162	1,151	11	177	201	△24
	状 況 確 認	1,196	1,065	131	989	1,054	△65	644	713	△69
	助 言 指 導	147	148	△1	0	0	0	20	40	△20
	そ の 他	1	14	△13	0	0	0	16	37	△21

◆高齢者共同生活支援施設運営事業

遠軽地区に設置されている施設で、入居高齢者の生活を支援する町からの委託事業です。

「みのり荘」「第2みのり荘」に各1名の支援員を配置し、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、365日24時間体制で入居者の食事や日常生活のお世話など入居者の生活支援を行いました。

(両施設共に定員9名)

◆高齢者総合生活福祉センター管理運営事業

白滝地区に設置されているセンターの管理運営委託を町から受けています。

このセンターの居住部門において、入居者が安心して暮らせるよう、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、生活支援を行いました。

(365日24時間体制で援助員1名が常駐)

令和5年度末の入居の状況は、16居室のうち11室が利用されており、12名が入居しています。

◆生活管理指導短期宿泊事業

町の委託を受け、白滝地区の「高齢者総合生活福祉センターほのぼの」において、家族が留守にするなど介護が出来ない場合、短期間の宿泊利用をする事業です。令和5年度は、利用者がいませんでした。

◆障がい者（児）移動支援事業

町の委託を受け、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者及び児童を対象に、障がい者（児）の社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動など外出移動の際の移動介護を支援するものです。

遠軽地区の身体障がい者に新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、ヘルパーを派遣しサービスを提供しました。利用延べ回数は前年度に比べ増となりました。

地 区	年 度	令和5年度 (利用延回数)	令和4年度 (利用延回数)	比 較
	遠 軽		45	40

※実利用者数は令和6年3月31日現在 1名

◆障がい者（児）居宅介護等事業

町の委託を受け、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者及び児童を対象に、障がい者総合支援事業の対象にならない方に通所サービスを提供するものです。令和5年度は、利用がありませんでした。

◆要介護認定に係る調査業務

町の委託を受け、介護保険の要介護認定を受ける方のために、社協の介護支援専門員が新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、自宅等を訪問し、調査業務を行うものです。

当事業所の介護支援専門員を増員できない中で、調査業務の延件数は前年度と比較して、78件の減となりました。

年 度	区 分	施 設	在 宅 I	在 宅 II	合 計
	令和5年度		0	127	0
令和4年度		0	201	4	205
比 較		0	△74	△4	△78

(2) 社協独自在宅福祉サービス事業

◆在宅介護用品貸与事業

在宅で生活する方のために、介護用品の無料貸出しを行いました。

介護保険を利用できない方に対する退院後の生活支援、介護用品のレンタルまでのつなぎ、購入までの試用、旅行や行事での利用など、短期で緊急的な要望に

応えてきました。

令和5年度の実績は次のとおりで、貸出総件数は、前年対比で42件の減となりました。

在宅介護用品貸与事業（無料）実績

（単位：件）

	物 品 名	遠 軽	生田原	丸瀬布	白 滝	合 計
ベ ッ ド 関 連	ベッド	8(11)	0	0	0	8(11)
	マットレス	9(11)	0	0	0	9(11)
	サイドレール	5(10)	0	0	0	5(10)
	介助バー・手すり	6(9)	0	0	0	6(9)
	ベッド用テーブル	1	0	0	0	1
	点滴棒	0	0	0	0	0
歩 行 関 連	車いす	35(32)	4(1)	0(3)	11(19)	50(55)
	歩行器	32(43)	3(3)	0(1)	0	35(47)
	シルバーカー	0	0	0	1(4)	1(4)
	4点つえ	15(13)	0(1)	0(2)	0	15(16)
	つえ	1	0	0	0	1
	松葉つえ	0(2)	0	0	0	0(2)
	スロープ	0(3)	0	0	0	0(3)
	車いす用クッション	0(2)	0	0	0	0(2)
入 浴 関 連	シャワーチェア	10(19)	3(1)	1(2)	0	14(22)
	浴槽台	4(9)	2	1	0	7(9)
	バスグリップ	13(18)	1	0	0	14(18)
	バスマット	0	0	0	0	0
	バスボード	1	0	1	0	2
居 室 用 関 連	手すり	25(22)	5(2)	0(2)	2(1)	32(27)
	手すりストッパー	2	0	0(2)	0	2(2)
	ポータブルトイレ	16(11)	0	0	0(1)	16(12)
	合 計	183(215)	18(8)	3(12)	14(25)	218(260)

※（ ）内は前年度の貸出延べ件数

◆**介護用品支給事業（社協独自の紙オムツ等無料配付）**

町から委託を受けている在宅介護用品支給事業を補完するため、介護の必要な在宅高齢者（要介護1以上）並びに在宅重度身体障がい者（児）を対象として、紙オムツ、紙パンツ、尿取りパッドを支給しました。

介護用品の延利用者数は、全体で37人の増となりました。

介護用品支給状況

(単位：人)

地区別	年 度		令和5年度	令和4年度	比 較	備 考
	対象者	延利用者数				
遠 軽	対象者		81	76	5	
	延利用者数		770	698	72	
生田原	対象者		24	26	△2	
	延利用者数		169	186	△17	
丸瀬布	対象者		10	9	1	
	延利用者数		103	113	△10	
白 滝	対象者		4	7	△3	
	延利用者数		38	46	△8	
計	対象者		119	118	1	
	延利用者数		1,080	1,043	37	

※対象者は令和6年3月31日現在です。

◆はざま支援事業

この事業は、公的制度に該当しない高齢者等に対して、訪問介護サービス、配食、洗濯などのサービスを行うものです。

令和5年度の年間利用者総数は、前年度と比べて減となり、利用料も前年度より減となりました。

利用状況

(単位：人、回、時間、円)

通所介護 (回数)					訪問介護 (時間)				30分延長毎に料金の1/2額を追加		
年 度	料 金		基 本	昼 食	入 浴	料 金		家 事		家事以外	身 体
	利用者	1,500円				実 費	500円				
R5	1人		2回	0	2	13人		1.5時間	11時間	11時間	
R4	0人		0回	0	0	17人		5.5時間	3時間	21時間	

配 食 (食)			洗 濯 (回数)			合 計		
年 度	料 金		該 当	他	料 金	1,500円	年間利用者総数	金 額 (総額)
	利用者	400円						
R5	19人		109食	0食	0人	0回	33人	160,900円
R4	62人		1,118食	0食	0人	0回	79人	512,300円

◆おせち料理配付事業 (生田原地区において実施)

70歳以上の一人暮らしの高齢者で、一人で年末年始を自宅で過ごされる方のうち、配付を希望される方を募り、一部自己負担、1,600円をいただき、おせち料理を12月31日に生田原地区事務所職員が31世帯に配付しました。

この事業に合わせて、遠軽絵手紙同好会の方々が作成した「手づくり箸袋」を配りました。

◆年越し料理配付事業（丸瀬布地区において実施）

概ね75歳以上の虚弱高齢者世帯及び高齢の夫婦世帯から希望を募り、一部自己負担1,500円をいただき、年越し料理を12月31日に丸瀬布地区の地域福祉推進委員等4名、民生委員児童委員6名及び社協職員1名の計10名で17世帯に19食を配付しました。

この事業に合わせて、遠軽絵手紙同好会の方々が作成した「手づくり箸袋」を配りました。

◆障害者総合支援事業（障がい者ホームヘルパーサービス・デイサービス）

障害者総合支援法による道の事業所指定及び町の事業指定を受け、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、障がい者へのヘルパー派遣及び通所サービスを行いました。

ヘルパー事業の延利用者数は、前年度と比較して、89人の減となりました。

通所サービスは、白滝地区のデイサービスセンターほのぼの白滝の利用者が1人で、延利用者数は、前年度と比較して18人の増となりました。

障がい者ホームヘルパーサービス（遠軽地区）

（単位：人）

事業所	年 度	令和5年度	令和4年度	比 較	令和6年3月31日 現在利用実人員
	利用人員				
遠軽町社協ホームヘルパーステーション	延利用者数	840	929	△89	5

障がい者支援・デイサービスセンターほのぼの（白滝地区）

（単位：人）

年 度	令和5年度	令和4年度	比 較	令和6年3月31日 現在利用実人員
人 員				
延利用者数	66	48	18	1

◆日常生活支援サービス事業

高齢または障がい（知的障がい、精神障がい、その他）により日常生活の判断能力に不安があり在宅で生活している方、または在宅で生活する予定の方に福祉サービスの利用手続きや生活費の管理（通帳預かり、金銭管理、口座管理、借入金返済支援、支払支援）など、2名の方に支援を行いました。

◆高齢者等在宅生活サポート事業

令和4年度より実施した新事業であり、既存の制度だけでは対応がむずかしい高齢者等の日常的な“ちょっとした困りごと”に対して、在宅生活をサポートするために、有償ボランティア（地域住民）を派遣し、支援を行いました。

高齢者等在宅サポート事業も、徐々に地域住民へ浸透しつつあり、利用も増えています。

利用状況

(単位：人)

年 度 人 員	令和5年度	令和4年度	比 較
実支援利用者数	6	1	5
延支援利用者数	68	19	49
延ボランティア 派遣数	72	19	53

3 介護保険事業

(1) 訪問介護事業（ホームヘルパーサービス）

4地区、3か所での知事の事業所指定を受け、サービス提供を行っています。
ホームヘルパーサービスは、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、生活支援の中での家事援助、通院のための乗降介助等を行っています。
令和5年度の事業所別、介護区分別の利用状況は、次のとおりです。

◆遠軽地区訪問介護事業所

遠軽地区で実施しているホームヘルパー事業です。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、事業を行ってきました。

事業の実績は、前年度と比較して延利用者数全体では、1,128人の減となりました。

遠軽地区訪問介護事業

(単位：人)

年 度	介護区分 人 員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
		令和5年度	延利用者数	1,541	1,437	876	0
令和4年度	延利用者数	1,300	2,206	1,408	73	31	5,018
比 較	延利用者数	241	△769	△532	△73	5	△1,128

◆生田原地区訪問介護事業所

生田原地区で実施しているホームヘルパー事業です。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、事業を行ってきました。

事業の実績は、生田原地区の利用者以外に遠軽地区の利用者も受入れているので、前年度と比較して延利用者数全体では、404人の増となりました。

生田原地区訪問介護事業

(単位:人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和5年度	延利用者数	511	652	375	75
令和4年度	延利用者数	487	494	228	0	0	1,209
比較	延利用者数	24	158	147	75	0	404

◆白滝・丸瀬布地区訪問介護事業

白滝・丸瀬布地区で実施しているホームヘルパー事業です。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、事業を行ってきました。

事業の実績は、前年度と比較して延利用者数全体では、506人の減となりました。

白滝・丸瀬布地区訪問介護事業

(単位:人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和5年度	延利用者数	1,187	1,218	235	1
令和4年度	延利用者数	1,194	1,303	455	168	27	3,147
比較	延利用者数	△7	△85	△220	△167	△27	△506

◆介護予防・日常生活支援総合事業(第1号訪問事業)

町から事業所の指定を受け、介護予防・日常生活支援総合事業(第1号訪問事業)の要支援者、事業対象者にサービスを提供しています。

令和5年度もヘルパーが減員となった中で、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、事業を行ってきました。

事業の実績は、前年度との比較では、遠軽地区が46人の減、生田原地区が181人の減、白滝・丸瀬布地区が149人の減となり、事業所全体では、376人の減となりました。

総合事業(第1号訪問事業)

(単位:人)

年度	事業所 人員	遠軽地区 訪問介護 事業所	生田原地区 訪問介護 事業所	白滝・丸瀬布地区 訪問介護 事業所	合計
		令和5年度	延利用者数	758	502
令和4年度	延利用者数	804	683	472	1,959
比較	延利用者数	△46	△181	△149	△376

(2) 通所介護事業（デイサービス）

遠軽地区2ヶ所、白滝地区各1ヶ所、3事業所において道、及び町の事業所指定を受け、通所介護事業（デイサービス）を行いました。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、事業を行ってきました。

令和5年度の事業所別、介護区分別の利用状況は、次のとおりです。

◆デイサービスセンターのびやか

遠軽町保健福祉総合センター（げんき21）内において、定員1日30名の通所事業を月曜日から金曜日まで（祝祭日を含む。）行いました。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、事業を行ってきました。

事業の実績は、延利用者数が前年度と比較して全体で188人の減となりました。

なお、遠軽高校定時制の生徒をボランティアとして受け入れ、授業として行う福祉学習の場として協力をしていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため休止しました。

デイサービスセンターのびやか

（単位：人）

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和5年度	延利用者数	1,498	1,155	422	182
令和4年度	延利用者数	1,332	1,320	543	276	366	3,837
比較	延利用者数	166	△165	△121	△94	33	△181

◆デイサービスのびやか2条通

遠軽町2条通南1丁目で行っている定員1日9名の地域密着型通所事業です。利用者は、認知症や大勢のデイサービスになじめない方が利用しています。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、事業を行ってきました。

全体の延利用者数は、前年度との比較では、65人の増となりました。

デイサービスのびやか2条通

（単位：人）

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和5年度	延利用者数	157	820	31	154
令和4年度	延利用者数	145	802	100	50	0	1,097
比較	延利用者数	12	18	△69	104	0	65

◆デイサービスセンターほのぼの白滝

白滝地区の遠軽町白滝高齢者総合生活福祉センター（ほのぼの）内で行っている利用定員10名の地域密着型通所事業です。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策として、休業を余儀なくされた期間があり、全体の延利用者数は、前年度と比較して、84人の減となりました。

デイサービスセンターほのぼの白滝 (単位:人)

年度	介護区分 人員	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
		令和5年度	延利用者数	846	716	171	0
令和4年度	延利用者数	597	751	460	9	0	1,817
比較	延利用者数	249	△35	△289	△9	0	△84

◆介護予防・日常生活支援総合事業（第1号通所事業）

町から事業所の指定を受け、介護予防・日常生活支援総合事業（第1号通所事業）の要支援者、事業対象者にサービスを提供しています。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策として、休業や時間短縮営業を余儀なくされた期間があり、利用者においてもコロナ感染症の予防として通所を休む方も出ましたが、全体の延利用者数は、前年度と比較して、39人の増となっております。

総合事業（第1号通所事業） (単位:人)

年度	事業所 人員	のびやか	のびやか 2条通	ほのぼの白滝	合計
		令和5年度	延利用者数	1,538	96
令和4年度	延利用者数	1,276	226	264	1,766
比較	延利用者数	262	△130	△93	39

(3) 認知症対応型共同生活介護事業（ぐるーぷほーむ春來）

認知症により自立した生活が困難になった方が、住み慣れた地域のなかで家庭的な雰囲気のもと共同生活ができるように支援しています。

また、訪問看護ステーション「にじ」との医療連携体制（週1回の訪問看護）を行い、入居者の健康保持に努めています。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、居住者の生活支援を進めてきました。

入居者の要介護度は、次のとおりで、待機者は、3月末現在で9名となっております。

春來入居者状況

(単位：人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
0	4	3	0	2	9

※令和6年3月末現在

(4) 小規模多機能型居宅介護事業（小規模多機能ほ一むきなり）

自宅と同じような小規模な施設で家庭生活の環境が維持できるよう、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」を組み合わせた介護サービスを提供するもので、登録定員は、24名（通い定員1日12名、泊まり定員4名）です。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、利用者の生活支援を進めてきました。

全体の延利用者数は、前年度比で709人の減となりました。

小規模多機能ほ一むきなり

(単位：人)

年度	介護区分 人員	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和5年度	延利用者数	156	144	1,857	510	0	224	0	2,891
令和4年度	延利用者数	115	265	2,056	820	0	344	0	3,600
比較		41	△121	△199	△310	0	△120	0	△709

4 公益事業

(1) 居宅介護支援事業（介護計画作成）

介護認定を受け介護保険を使ってサービスを受けるためには、サービス計画を立てなければなりません。この計画を立てる者が、居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）です。

当事業所の今年度末、5名の介護支援専門員が業務に従事しています。

介護支援専門員は、要介護者本人やその家族（介護者）と一緒に、要介護者が在宅で生活するためには何が必要であるのかを考え、ホームヘルプサービスやデイサービス、福祉用具のレンタルなどの計画を作成します。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、利用者の介護計画作成を進めてきました。

全体の延利用者数は、前年度と比較して92人の減となっています。

居宅介護支援

(単位:人)

年度	介護区分 人員	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
		令和 5年度	延利用者数	626	508	207	71
令和 4年度	延利用者数	519	643	268	64	46	1,540
比 較		107	△135	△61	7	△10	△92

(2) 福祉用具貸与・販売・住宅改修事業

在宅で生活するために、必要な福祉用具の貸与、販売、住宅改修等を行う事業で、高齢者等の在宅生活を支援して行くことを目的として、専門相談員が事業を進めています。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、利用者の在宅生活の支援を進めてきました。

◆福祉用具貸与事業

介護用具の貸与を希望する高齢者等は多く、貸与品目は次のとおりで、前年度との比較では、要支援者、要介護者を合わせて3,677件の増となりました。

貸与品の増加に伴い、事業収入も増えました。

令和6年3月末の実利用者総数は367人(要介護者253人、予防114人)で前年度より24人増えています。

福祉用具貸与品目別実績表

(単位:件)

品 目	要 介 護 者			要支援者 (予防)			備考
	令和5年度	令和4年度	比 較	令和5年度	令和4年度	比 較	
車イス	853	882	△47	35	41	△6	
車イス付属品	284	369	△85	0	0	0	
特殊寝台	1,139	994	145	12	17	△5	
特殊寝台付属品	3,334	2,831	503	36	54	△18	
床ずれ予防用具	317	288	29	2	1	1	
体位変換器	44	47	△3	0	0	0	
手すり	5,153	3,494	1,659	1,597	1,289	308	
スロープ	998	899	99	60	42	18	
歩行器	2,052	1,343	709	680	575	105	
歩行補助つえ	423	177	246	133	127	6	
老人徘徊感知機器	28	32	△4	0	0	0	
移動用リフト	73	56	17	0	0	0	
合 計	14,680	11,412	3,268	2,555	2,146	409	

◆住宅改修事業

要介護者等が在宅で生活するため、介護保険の対象となる敷居の段差改修・玄関、トイレ、風呂、廊下、階段への手すり等の取付は、101件で前年度から8件の増となりました。

また、介護保険の対象外の手すり等の取付は、9件で前年度から1件の減となりました。

全体の件数では、前年度より7件の増となっています。

住宅改修事業実績表

(単位：件)

年度 人員	令和5年度	令和4年度	比較	備考
介護保険対象	101	93	8	
介護保険対象外	9	10	△1	
合計	110	103	7	

◆福祉用具販売事業

要介護者等が在宅で生活するための介護保険の対象となるポータブルトイレ、風呂イスなどの販売は、122件で前年度より3件の増となり、一般福祉用具（介護保険対象外）の販売は、前年度より90件の増となりました。

全体の販売件数も、前年度と比較して93件の増となっています。

利用者、家族の方々からは、担当者が訪問し、介護用品について説明受け、相談を行って利用者に適した用品を購入できると好評を得ています。

福祉用具販売実績

(単位：件)

年度 人員	令和5年度	令和4年度	比較	備考
介護保険対象	122	119	3	
介護保険対象外	260	170	90	
合計	382	289	93	

◆日常生活用具取扱事業

65歳以上の寝たきりの方、重度身体障がい者（児）、知的障がい者（児）などの日常生活に必要な自助具の交付を遠軽町と遠軽町社協との契約に基づき、次のとおり交付を行っています。

今年度は、2件の交付で、（前年度2件）前年度と同じ件数になりました。

交付金額は、118,400円で（前年度交付金額120,000円）1,600円の減となりました。

◆補装具取扱事業

令和5年度の実績は、0件でした。

(3) 高齢者共同生活住居管理運営（有料老人ホームえにし）

在宅と施設の「はざま」にいる支援を必要とする高齢者のため、「有料老人ホームえにし」を整備し、入居者にサービスを提供しています。令和5年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、10名の居住者の生活支援を行いました。

えにし入居者状況

(単位：人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
8	2	0	0	0	10

※令和6年3月末現在（待機者5名）

(4) 介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント

この事業は、要支援者及び事業対象者の予防介護の計画を立てるもので、地域包括支援センターにおいて、サービス計画を作成します。令和5年度も新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、利用者の支援を進めてきました。

計画策定の件数が多く町社協居宅介護支援事業所及び外部の居宅介護支援事業所へ一部作成を委託し実施していますが、各事業所の介護支援専門員の不足により、社協の居宅介護支援事業所や外部委託は、年々減少しております。

令和5年度は、社協居宅介護支援事業所への委託が減少しました。

要支援1・2の介護予防サービス計画は、前年度より189件の増となっています。

介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント全体では、前年度より84件の減となっています。

区分ごとの介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメントサービス計画作成状況は、次のとおりです。

介護予防支援サービス計画の状況

(単位：延件数)

※包括直営＝地域包括支援センター

※社協＝社協居宅介護支援事業所

年 度	区 分	介 護 度		
		要支援1	要支援2	合 計
令和5年度	包括直営	648	649	1,297
	社 協	27	25	52
	外部委託	58	40	98
	計	733	714	1,447
令和4年度	包括直営	602	503	1,105
	社 協	25	62	87
	外部委託	34	32	66
	計	661	597	1,258
比 較	包括直営	46	146	192
	社 協	2	△37	△35
	外部委託	24	8	32
	計	72	117	189

※外部委託＝外部の居宅介護支援事業所

介護予防ケアマネジメント計画状況

(単位：件)

年度 件数	令和5年度	令和4年度	比較	備考
サービス提供者数	817	901	△84	

介護予防・日常生活支援総合事業対象者数

(単位：件)

年度 件数	令和5年度	令和4年度	比較	備考
事業対象者	7	8	△1	

(5) 認知症サポーター養成講座実施状況

認知症サポーター養成講座に協力し、講師として職員を派遣するとともに社協の事業のなかでも実施しました。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら講座を開催しました。認知症に関することは、地域住民の関心も高まっており、昨年度は、1回の講座開催となりました。

実施日	派遣先	場所	参加人数	キャラバンメイト（講師）
令和6年 1月30日	遠軽中学校	遠軽中学校	69人	地域包括支援センター 保健師 橘 梨 夏